当面のスローガン

- 本年こそ「人権侵害救済法」を制定させよう！
- 狭山再審闘争の勝利をかちとろう！
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう！

解放新聞 和歌山版

発行所
解放新聞和歌山支局
〒640-8314
和歌山市神前 405-3
TEL 073-473-2301
FAX 073-473-2302
発行責任者
中澤敏浩

対和歌山県交渉を実施

対和歌山県交渉を10月29日、和歌山県民文化会館でひらき、各界各層から約350人が参加した。

2013年度 対和歌山県交渉

部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会
部落解放同盟和歌山県連合会

あいさつする松本貞次・県連副執行委員長

はじめに、田上武・部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会会長、松本貞次・県連副執行委員長からあいさつがあり、交渉にむけた決意をのべた。

つぎに、基本要求の答弁を下宏・副知事あいさつのなかでのべられ、藤本哲史・県連書記長から基調提案があり、参加者は各部局交渉にむかった。

◆副知事あいさつ（要約）

県では、同和問題解決に向けた取組については、県政の重要な柱として位置付け。

しかしながら、今回、平成22年国勢調査データを見てみますと「県人権課題現況調査」同様、産業、就労、教育等において課題が残されております。

・中小企業振興対策

関係団体等と連携しながら、経営上の様々な分野での相談に応じるとともに、新商品・新サービスの開発等に対する助成、販路開拓支援、さらには円滑な資金調達支援などに取り組んでいる。

・共同作業場運営

地域の雇用確保の重要な場として有効に機能するよう対応する。

・教育行政

「県同和教育基本方針」の理念に基づき同和教育の推進に努めるとともに同和問題を人権問題の柱と位置づけ、人権教育を推進している。

・修学奨励金制度

利用しやすい制度へと見直しを進めるため、検討中。

・奨学の給付金制度

国で実現に向け検討が進められている。

・市町村の地域福祉計画策定

地域にある福祉課題や人権問題を解決する視点に立ち、住民の意見を反映した計画とするよう、助言。

・隣保館

地域福祉の向上や同和問題をはじめ、人権課題を解決するための拠点施設。今後とも設置市町に対し、隣保館の設置趣旨を助言。

・公営・改良住宅

建替え事業や改善事業などを効果的に組み合わせて計画的に実施するためのマスタープランの策定及びそれに基づく事業の実施について、市町村に要請。

・防災対策

「防災・減災対策の総点検」を実施し、また紀伊半島大水害の教訓を踏まえ、全力で防災・減災対策に取り組む。各市町村が地域防災計画を修正する際に助言。

・南海トラフ巨大地震

逃げ切るためのソフト対策で県民の命を守り、「東海・東南海・南海3連動地震」について、ソフト対策とハード対策の両面により県民の命と財産を守る。

・宅販売業者による差別事件

同和地区を特定するなどの差別記載がされた会社の内部資料が、橋本市の3件に加え新たに4件発覚しており、現在、指導権限のある国交省と連携し、事実関係を詳細に調査するとともに、二度とこのような行為が発生しないよう宅建業法に基づき、業者及び業界団体を指導。

・行政機関に対する同和地区の問い合わせ

職員に対し適切な対応等について周知徹底し、市町村にも同様の取組を依頼。

・インターネット上の差別書き込み

法務局と連携してプロバイダ等へ削除依頼を行うなど、被害の拡大を防止する。

・出先機関等への差別メールに

本人や家族を通じて啓発を行っている。

・人権救済のための実効性のある法制度

国に早期整備を要望。

・行政書士等による住民票等の不正取得事件について

全市町村に交付請求状況を調査し、請求が明らかになった86件について、関係市町に対し本人告知を行うよう依頼。

・不正取得について

職務上請求が可能な8士会に対し、適正な使用について依頼。加えて市町村に対しては、審査の徹底を図るよう通知するとともに、「事前登録による本人通知制度」の早期導入を働きかけている。

・探偵業

実態等の把握に努め、立入検査を行い、適正な業務運営のための指導・取締りを行っている。

頑健

50年前の11月22日は、アメリカ第35代大統領ジョン・F・ケネディが暗殺された日である。まだ、中学生だった私が衛星中継ではじめてみたニュースがコレだった。くわしいことはわからなかったが、大きなショックだったことを覚えている▼ケネディの功績は、逮捕された公民権運動（黒人の差別撤廃）の指導者キング牧師の釈放を実現したことをはじめ、黒人差別撤廃に熱心にとりくんだといわれている。反対する南部各州に圧力をかけ、アメリカ初の黒人大学生を誕生させ、政府の重要ポストに黒人を多く登用した。そして「私にも夢がある」として、キング牧師の悲願である「公民権法」制定への道筋をつけた。さらに、キューバ危機の回避と「核拡散防止条約」への米ソ調印の実現など、その功績があげられる。しかし、一方ではマフィアやマリリン・モンローとの関係などスキャンダラスな面やベトナム戦争の泥沼化への加担など、負の問題も指摘されている。それでも私にはヒーローだった▼これは、同じアイルランド出身のビートルズ、とくにジョン・レノンへの思いとかぶっていることも原因だが（笑）。さて、娘のキャロライン・ケネディが新米国大使に着任し、多くの国民がなんの根拠もなく、なにかしらの淡い期待を抱いているが、やっぱり「ケネディ」だから…

（S・I）